

# 道

2017年10月



「林さんは酒飲みと聞きましたよ」  
「いえ、そんな。酒が好きなのは間違いないですが」  
▼そういえば、この一年間で酒を飲まなかったのは、体調を崩した二日間ほどだけだったような気がする。▼酒好きは親譲りである。僕の記憶にある父は「好き」を通り越していた。僕が小学校五年生の頃だったか、理容店で散髪してもらっていた時、外で騒ぎがあった。「酒飲みが暴れとる」「おお、ありゃあ、林じゃ」。店の人は僕が酒乱の男の息子であることを知らなかった。僕は目と口をぎゅっと閉じて身体を固くしていた。▼それから一年ぐらい後に、父は酒を飲みすぎて事故死する。母や子ども達を苦しめた父の葬儀で、母や周りの人が涙しているのを不可解な思いで眺めている僕がいた。少しも悲しくなかった。そして酒飲みにだけはならないと誓った。▼ところが、その僕がいつの間にか「日本酒は新酒が一番」「ほのかな麴の香りが好き」「甘過ぎるのより、きりっとしたやつ」「何と言っても無濾過でしょう」「シューシーなのもお勧め」などと分かったようなことを言っている。▼父のことを「酒を飲んだ時は別にして、ほんとにええ人じゃったよ」「優しかった」「器用な人でした」などと僕に話してくれた方々がいる。父は「弱さ」を抱えて必死で生きていたんだろうなと、近くに感じたりする。「父ちゃん、いっしょに酒を飲みたかったよお」。父の墓に眩きかける。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

